

いぬなし青葉

令和5年2月17日

第23号

校長 山下英樹

● 文部科学大臣表彰を受けました

本校のこれまでの地域と連携した取組が「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体推進」に係る文部科学大臣表彰を受けました。これまでのご支援、ご協力に感謝いたします。2月3日（金）に文部科学省で行われた表彰式には、委員長の長谷川さんに出席していただきました。今後も地域の皆様、PTA、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



● 学校教育診断にご協力、ありがとうございました

2学期後半に行いました学校教育診断にご協力いただき、ありがとうございました。すべての項目やご意見について目を通し、校内の委員会でも検討を行いました。すでに、学年通信をH&Sで配信したり、自転車の乗り方や放課後の地域の公園利用の仕方について生徒に指導したりするなど、内容によっては改善や対応を進めているものもあります。頂いたご意見全てに回答することは紙面の都合上できませんが、真摯に受け止め改善に努めてまいります。気になる内容がありましたら、学校までご連絡ください。アンケート結果および頂いたご意見について、複数寄せられたものや主なものについて報告いたします。

【アンケート結果より】 P4にアンケート結果を掲載しました。

1. 今年度からH&Sのアンケート機能を使って行いました。その影響もあってか、保護者の回収率が87%と昨年度よりも5%近く下がってしまいました。
2. 「答えにくい」「わからないから答えられない」というご意見を複数頂きました。紙媒体で行っていた時は無回答となっている項目もありました。ところが、H&Sのアンケート機能で「回答しないと次に進めない設定」となっていましたので、このような意見が多くなってしまったと思われます。申し訳ありませんでした。また、このことが回収率にも影響したのではないかと考えられます。来年度以降に反映させていきます。
3. 保護者アンケートでは、4段階評価で3.0を超えている項目が19項目中14項目あり、本校の教育活動をおおむね評価していただいたものと受け止め、感謝申し上げます。しかし、昨年度のアンケート結果より0.2ポイント以上上がっている項目は1項目に対し、0.2ポイント以上下がっている質問項目が7項目もありました。上記2のことも影響していることもあるでしょうが、この結果を真摯に受け止め、次年度以降の教育活動に生かしていきたいと考えます。
4. 保護者アンケートで0.2ポイント以上上がっていた項目は「情報発信の努力」で、3.3でした。コロナ禍にあり、学校の様子を見ていただく機会も制限せざるを得ない状況下、できるだけ学校の様子や生徒の活躍をお伝えしようと学校通信の内容を充実させ、学校HPの更新回数も増やしました。そのことを評価していただいたものと受け止め、大変うれしく思います。今後も続けていきたいと考えています。
5. 保護者および教職員のアンケートで2.8と一番低かった項目が、「学校施設・設備の環境整備、有効活用」です。施設の改修、改善については市教育委員会と常に連絡を取り合っています。その結果、今年度、いくつかの改修を行いました。開閉に難があった東門を新しいものと交換しました。

破損が激しかった東校舎2階理科室前廊下の床を張り替えました。穴の開いていた天井のパネルを新しいものに取り換えました。不安定だったWi-Fi環境や停電を繰り返していた電気環境を改善しました。あおば学級に通じる犬走りの階段に手すりを取り付けました。その他にもいくつかの改修や補修を行いました。しかしながら、まだまだ改修および交換すべき施設がたくさんあります。引き続き、教育委員会と連携をとりながら、進めていきたいと考えています。

6. 「進路指導の充実」の保護者アンケートの結果も2.9と低い値でした。詳しく見ると2・3年生の保護者の結果が3.0に対し、1年生の保護者の結果は2.7でした。この項目は毎年低く、改善に力を入れていくべき項目と捉えています。進学指導の情報だけに留まらず、生徒が将来の進路や職業について学習・体験した内容を、通信・ホームページ等で周知していくようにします。また、3年生に配付している「進路通信」を来年度から1・2年生にもH&Sで配信するようにし、保護者の皆様に情報提供していきたいと考えています。
7. 「わかる授業」の生徒アンケートの結果3.4に対し、保護者アンケートの結果は2.9でした。また、「適切な評価」の生徒アンケートの結果3.4に対し、保護者アンケートの結果は3.0でした。生徒のアンケート結果と保護者のアンケート結果に大きな隔たりがあります。このことから、保護者への情報発信が不足していると捉えられます。授業の様子など、積極的に発信していきたいと思えます。
8. 「保護者や地域の人たちとの連携」の保護者アンケートの結果は2.9と低い値でした。保護者アンケートの自由記述の欄にも「もっと学校の様子、子どもたちの様子を見たかった」という意見が複数ありました。コロナ禍とはいえ、保護者、地域の皆様の思いにもっと寄り添い、公開に向けての工夫が必要だったと振り返っています。今年度のアンケート結果を来年度にいかしていこうと考えております。
9. 生徒アンケートの結果で3.4以上と大変高い結果を示した項目は、「わかる授業」「道徳や人権・同和教育の充実」「適切な評価」「充実した学校生活」「教育相談等・生徒との関わり」「部活動の充実」「自立した社会性の育成」「体力の向上・健康管理」と、17項目中8項目もありました。授業においても、部活動においても、それ以外の学校生活においても充実していると捉えることができそうです。「笑顔と希望にあふれる学校」を目指していきます。

【保護者・生徒・CS委員からの意見より】

1. 保護者の方から「コロナ禍もあり、学校行事などに保護者が参加できなかったことが残念である」「せめて、最終学年の3年生の保護者だけでも参観できなかったのか」という内容のご意見を複数いただきました。特に体育祭を公開できなかったことについて、3年生の保護者の方から複数のご意見がありました。体育祭の実施について検討する中で、感染拡大防止対策を行った上で、3学年が揃った体育祭を実施することを最優先しました。現3年生についてはこれまでの2年間、学年別の体育祭しか経験しておらず、全学年揃った「普通の状態の体育祭」を経験してほしかったからです。また、下級生から見られることは3年生にとっても、そして、下級生にとっても教育的な効果は大きいと考えたからです。その方向性で実施についての検討を進める中で、第7波の感染状況や校内においても断続的に学級閉鎖が行われる状況を鑑み、また、当日、600人ももの生徒の活動場所を確保した上で、保護者の参観スペースや移動時の動線等をシュミレーションした結果、感染症対策を徹底するには保護者の参観を控えて頂くという判断に至りました。その対応として、保護者の皆様への公開はYouTubeによるライブ配信およびアーカイブ配信を実施することにしました。とは言え、子どもたちの姿を直接見ていただく機会を提供することができなかったことに関して、また、保護者の皆様の思いに寄り添えなかったことについて、改めて心苦しく感じております。この反省を来年度以降の学校経営にいかしていきます。
2. 学校の公開については、文化祭当日は保護者の方に直接見ていただく機会を設定することはでき

ませんでした。合唱コンクールのリハーサルの様子を見ていただく機会を設けました。生徒の作品を見ていただく機会がありませんでしたので、三者懇談会の際に廊下や来客用玄関に生徒の作品の一部ですが、展示しました。また、時間的な制限をつけましたが、1・2学期に学校公開週間を実施しました。多数の保護者の方に足を運んでいただき、学校の様子・子どもたちの様子を見ていただくことができました。11月には自治会やPTAの協力のもと、3年ぶりにクリーン大作戦を実施することができました。まだまだ不十分ではありますが、このように、少しずつ、学校の様子を見ていただく機会を回復させています。5月には新型コロナウイルス感染症を感染症法上の位置づけを5類に移行すると報道されています。教育委員会の指示を受けつつ、実施方法の工夫を行いながら、以前の状態に近づけていきたいと考えております。

3. 「顧問が怖い」「対応が厳しすぎるのではないか」「人権を無視するような発言があった」といったご意見をいただきました。まずは不安や不審、不満や不快な気持ちにさせてしまったことに対し、大変申し訳なく感じております。そして、そのような指導や対応、発言があったこととお詫びするとともに、今後ないように努めてまいります。「生徒の成長のため」と考え、教育活動を進めていますが、高圧的・威圧的な指導や、生徒が納得できないような指導では、生徒の成長につながることはありません。ましてや人権を無視するような発言があってはなりません。大変申し訳ありませんでした。不適切な指導により、仮に一時的に一面的に効果があったとしても、それは「やらされた」ものであり、本当の意味での成長にはつながりません。生徒自らが主体的に取り組み、その中でうまくいったこと・いかなかったことを振り返り、考え、改善に向けて取り組んでいくことが、本当の意味での成長につながると考えます。そのために意欲を高めたり、視点や考え方を与えたりするなど、適切な支援や助言、指導を行っていくことが、我々教員に課せられた役割であると再確認を行いました。また、パワハラや体罰等が起こらないよう研修を進めます。さらに、教員間で自由に意見を言い合える雰囲気をつくり、維持することもこのようなことを防ぐために必要な大切な要素であると考え、そのような雰囲気づくりを進めてまいります。今後もお子様の様子で気になることがありましたら、担任や学年の教員、教頭までご連絡ください。
4. CS委員からは施設や設備の改善・改修についての意見をいただきました。また、生徒からも「ロッカーの改修をしてほしい」「トイレをきれいにしてほしい」の声が多くあがってきました。ロッカーの規格が旧式のままで、A4サイズの教科書等をロッカーに立てて置くことができない教室が多くあります。ロッカーの数を増やすために移動式の棚を設置したり、別の場所にまとめて置いたりするなどの工夫はしていますが、根本的な解決には至っていません。また、トイレについては特に西校舎のトイレは、子どもたちに我慢を強いており、大変申し訳なく感じております。この2点については以前より改修を市教育委員会に要望しておりますが、改善には至っていません。引き続き、強く要望をしていきます。前述しましたが、この2点以外にも改修や補修が必要な個所が多数あります。くわえて、来年度から中学校給食が始まります。西校舎の水道の口数が不足しており、給食前に全員が手洗いをするとかなりの時間を要することになります。水道の新設についても要望してまいります。
5. 生徒からは校則についての意見が複数ありました。校則については生徒指導委員会を中心に毎年見直しを進めています。今後は生徒会の取組の一つとして生徒の意見を取り入れ、見直しを進めていきたいと考え、現時点においても準備を進めています。取組を通して生徒の校則についての理解を深め、自分たちが決めたルールを守っていこうとする主体性を育む機会にもつながるものと考えています。
6. CS委員からは、生徒が一生懸命に授業や部活動に取り組んでいる様子をほめていただいたり、地域でのあいさつや小学生に道を譲るなどの心配りが見られたりするなどのお褒めの声もいただきました。このような声は積極的に発信し、生徒に返していきたいと考えています。

令和4年 学校教育診断集計

※評価数値は4段階評価の平均値 ⇒ 4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

領域	診断内容	項目	設問内容	前年度	本年度	前年比	
教育目標	学校教育目標・学校づくりビジョンの適正	教 1	学校教育目標・学校づくりビジョンは生徒たちの実態に即した適切なものである。	3.4	3.2	↓-0.2	
		保 1	学校教育目標・学校づくりビジョンは生徒たちの実態から見て適切なものである。	3.2	3.1	→-0.1	
	学校教育目標・学校づくりビジョンの実現に向けた努力	教 2	学校教育目標・学校づくりビジョンの実現に向けて適切な取り組みを行なっている。	3.3	3.2	→-0.1	
		保 2	先生たちは、山手中を「よい学校」にするために頑張っている。	3.5	3.3	↓-0.2	
	学習面	わかる授業	保 2	学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態にある。	3.1	3.1	→0.0
			教 3	学力の定着を図るため、指導内容の精選や授業改善・工夫をしている。	3.3	3.3	→0.0
生 2			先生たちは、授業をていねいに分かりやすく教えてくれる。	3.5	3.4	→-0.1	
特色ある教育課程の編成		保 3	生徒は、授業をていねいに分かりやすく教えてもらえると話している。	3.0	2.9	→-0.1	
		教 4	特色ある教育課程となるよう、3Wやボランティア活動等の工夫に取り組んでいる。	3.3	3.1	↓-0.2	
		生 3	学校では、総合的な学習(地域学習や職場体験学習等)や行事等、意欲的に取り組める内容がよく行われている。	3.2	3.2	→0.0	
道徳や人権・同和教育の充実		保 4	生徒は、総合的な学習(地域学習や職場体験学習等)や行事等、意欲的に取り組んでいる。	3.2	3.1	→-0.1	
		教 5	「心の教育」の充実のため、道徳や人権・同和教育、行事の充実に努力している。	2.9	3.1	↑0.2	
		生 4	命の大切さや社会のルール、人権教育等についてよく学習している。	3.5	3.5	→0.0	
進路指導の充実		保 5	学校は、命の大切さや社会のルール、人権を大切に子どもを育てようとしている。	3.2	3.1	→-0.1	
		教 6	キャリア教育の視点を取り入れ、3年間を見通した進路指導や情報提供を行っている。	3.3	3.2	→-0.1	
		生 5	将来の進路や職業について学習や体験をしたり、進路について考えたりしている。	3.2	3.2	→0.0	
適切な評価		保 6	生徒は、将来の進路や職業について学習や体験をしたり、進路情報を知らせてもらったりしている。	2.8	2.9	→0.1	
		教 7	学習等における生徒の能力や努力、学力を適切に評価している。	3.3	3.3	→0.0	
		生 6	先生たちは、学習の取り組みをきちんと評価してくれる。	3.4	3.4	→0.0	
「朝の読書」の有効性		保 7	学校は、学習等における生徒の能力や努力、学力などを適切に評価している。	3.1	3.0	→-0.1	
		教 8	「朝の読書」は、生徒たちの基本的な生活習慣づくりや興味付けに役立っている。	3.3	3.1	↓-0.2	
		生 7	「朝の読書」で読書に興味が高まった。	3.1	3.1	→0.0	
生活面	充実した学校生活	保 8	「朝の読書」は、読書の興味付けに役立っている。	3.2	3.0	↓-0.2	
		教 9	生徒は、のびのびと学び、充実した学校生活を送っている。	3.2	3.4	↑0.2	
		生 8	学校生活は楽しい。	3.5	3.4	→-0.1	
	生徒指導上の問題への対応	保 9	生徒は、学校生活を楽しく送っている。	3.4	3.2	↓-0.2	
		教 10	いじめや暴力等に毅然とした態度で対応し、人間関係づくりに組織的に取り組んでいる。	3.4	3.4	→0.0	
		生 9	先生たちは、いじめや友達関係等の問題について対応してくれる。	3.4	3.3	→-0.1	
	教育相談等、生徒との関わり	保 10	学校は、いじめ等のない温かい人間関係づくりに取り組んでいる。	3.2	3.0	↓-0.2	
		教 11	生徒とのふれ合いを大切にして、生徒の心に寄り添う生徒指導、教育相談に努めている。	3.5	3.5	→0.0	
		生 10	先生たちは、教育相談等を通じて、自分の悩み等に親身になって接してくれる。	3.5	3.4	→-0.1	
	部活動の充実	保 11	学校は、生徒の悩みや問題に親身になって接してくれる。	3.1	2.9	↓-0.2	
		教 12	生徒の主体性を重んじた、部活動の指導に取り組んでいる。	3.3	3.3	→0.0	
		生 11	部活動は楽しく充実している。	3.4	3.4	→0.0	
	自立した社会性の育成	保 12	生徒は、部活動に楽しく参加している。	3.3	3.1	↓-0.2	
		教 13	社会のルールとともに、時や場所に応じた言動や挨拶について、様々な領域において指導している。	3.4	3.4	→0.0	
		生 12	いろいろな活動を通じて、社会のルールや言葉遣い、挨拶等について学んでいる。	3.5	3.5	→0.0	
	家庭や地域の信頼に応える学校づくり	体力の向上 健康管理	保 13	生徒は、社会のルールとともに、時や場所に応じた言動や挨拶について学んでいる。	3.2	3.1	→-0.1
			教 14	健康で健全に生きるための心構えや知識を、生徒に指導している。	3.3	3.4	→0.1
			生 13	健康で健全な生活を送ろうと心掛けている。	3.5	3.5	→0.0
危機管理体制 (安全対策)		保 14	学校の教育活動は、生徒の健康で健全な生活習慣を身につけるのに、役立っている。	3.3	3.1	↓-0.2	
		教 15	安全計画を立て、日常的な安全指導や不審者情報等に対処できる体制が整っている。	3.1	3.2	→0.1	
		生 14	災害や不審者等への心構えはできている。	3.4	3.3	→-0.1	
学校施設・設備の環境 整備、有効活用		保 15	学校は、生徒が安心して学校生活を送れるよう安全に配慮している。	3.3	3.2	→-0.1	
		教 16	学校の施設や設備は、学習環境として整備され、有効に活用されている。	2.6	2.6	→0.0	
		生 15	学校の施設や設備は、活動をする上で使いやすいよう改善されている。	3.1	3.0	→-0.1	
保護者や地域の人たちとの連携		保 16	学校の施設や設備は、活動をする上で使いやすいよう改善されている。	3.0	2.8	↓-0.2	
		教 17	保護者や地域の人たちと連携し、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいる。	3.2	3.3	→0.1	
		生 16	総合的な学習やPTA行事等を通じて、社会や地域の人たちと接する機会が増えてきている。	2.8	2.8	→0.0	
情報発信の努力		保 17	学校は、保護者や地域に学校を公開し、生徒と地域の交流の機会をよく設けている。	—	2.9	—	
		教 18	学校・学年・学級通信等で、学校の様子や活動等を保護者や地域によく伝えている。	3.4	3.4	→0.0	
		生 17	学校ホームページや学校通信等の内容は、学校の様子や行事の様子が分かりやすい。	3.2	3.2	→0.0	
情報受信の努力		保 18	学校は、ホームページや通信等で、学校の様子や行事等の連絡を分かりやすく伝えている。	3.1	3.3	↑0.2	
		教 19	教育活動や地域の行事等を通して、生徒や保護者、地域の人たちの願いを掴むように努力している。	3.3	3.3	→0.0	
		生 19	学校は、生徒や保護者、地域の人たちの願いや思いを受け止める努力をしている。	3.1	3.0	→-0.1	